

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年4月25日			
平成15年度	事業コード		電話	042-769-8338
担当部課名	総務部	職員厚生	課	厚生 係
事務事業名	職員貸与被服購入費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 章	事業開始年度
基本施策名	第 節	年度
施策名	第 施策	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市職員被服貸与規則

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
職員に職務の内容に応じて必要な被服を貸与することにより、機能性や安全性、効率性の推進を図り、事故や災害の無い職場環境を実現することを目的としている。また、職場規律を図るとともに、職員であることを対外的に明確にすることにより、市民に対し責任を持った行動をとるなど、相模原市職員のイメージアップにつなげることも目的としている。	職員定数条例に定める職員（消防職員、環境整備員、保育士、学校作業員、介助員等を除く） 対象数 約2,600人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
総事業費 30,036千円 購入数量 5,020点 内訳（主なもの） 〔事務服類〕 ・男子ブレザー... 201着 ・女子ベスト... 58着 ・女子スカート... 61着 〔作業服類〕 ・夏期作業服上... 609着 ・夏期作業服下... 583着 ・作業シャツ... 354着 ・冬期作業服上... 446着 ・冬期作業服下... 328着 ・防寒服... 159着 ・安全靴... 204足 ・長靴... 221足	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移（年度）				
	エコ・ルック好感度	エコ・ルックの印象を「良い」または「普通」と回答した者/アンケート回答者	事務服の着用と市民の職員に対するイメージの因果関係を明らかにし、今後の事務服のあり方を検討するための資料とする	12	13	14	15	16
活動指標	被服貸与率	$(\text{貸与数}) / (\text{貸与予定数} \times \text{非スキップ率} + \text{特別貸与要求数}) \times 100$	貸与を必要とする職員に対する貸与状況を明らかにする。	100	100	100	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	31,864	30,695	30,036	13,017	13,017
人員・時間数	0.8人	0.8人	0.4人	0.4人	0.4人
人件費	6,712	6,712	3,356	3,356	3,356
その他経費					
合計	38,576	37,407	33,392	16,373	16,373
特定財源					
対象数	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600
対象の単位あたり経費	14.8	14.4	12.8	6.3	6.3

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	必要とされる被服の貸与は達成されている。
(2)必要性 評価 B ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 事務服着用については職員であることを対外的に明らかにすることを目的の一つとしているが、名札の改善等の方法により、この目的を達成できる可能性があり、事務服廃止等の検討を進める必要がある。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	自然環境の保護を目的として、エコマーク入りの環境配慮製品を導入している。
(4)効率性 評価 B ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 一部の市では、経費の節減を目的に、すでに事務服の貸与を廃止しており、本市においても検討を進める必要がある。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	職種に応じて必要な被服を貸与している。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 必要とする被服の貸与については達成されている。今後は、ニーズに応じた適正な貸与を行うために、事務服の廃止等を含む貸与内容の見直しを行う必要がある。	手段	名札の改善を図り、事務服の廃止を進める。
		削減額	2,000 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
		事務服については、一部の市においては貸与を廃止しており、本市においても、廃止に向けて平成16年度より事務服貸与を休止することを決定した。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	被服貸与の見直しを行った結果、平成16年度より次の2点を実施することを決定した。 1. 事務服の貸与休止 2. 作業服等(ヘルメット等安全確保を目的とした品目を除く)の更新方法の変更(貸与期間による更新を廃止し、毀損時の交換のみとする)
<input type="checkbox"/>	廃止	事務服については、さらに廃止に向けて検討を進める。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

事務服の廃止を検討すること
